



## 2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年1月14日

上場会社名 バリュースクリエーション株式会社

上場取引所 東

コード番号 9238 URL <http://value-creation.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新谷 晃人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 和田 晃一

TEL 03 (5468) 6877

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第3四半期の業績（2024年3月1日～2024年11月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	2,611	20.3	64	△61.0	58	△60.5	33	△64.7
2024年2月期第3四半期	2,171	-	165	-	148	-	93	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	14.43	13.01
2024年2月期第3四半期	46.80	41.38

(注) 1. 当社は、2023年2月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2024年2月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 当社は、2023年8月25日付で、普通株式1株につき20株の割合で、2024年3月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

3. 2023年11月22日付で東京証券取引所グロース市場に株式を上場したため、2024年2月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2024年2月期第3四半期会計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	3,845	528	13.7
2024年2月期	3,628	509	14.0

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 528百万円 2024年2月期 509百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	-	0.00	-	12.00	12.00
2025年2月期	-	0.00	-		
2025年2月期（予想）				6.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,238	9.8	179	3.9	181	8.8	119	4.3	51.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2024年3月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	2,300,800株	2024年2月期	2,300,800株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	74株	2024年2月期	74株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	2,300,726株	2024年2月期3Q	2,006,873株

(注) 当社は、2023年8月25日付で、普通株式1株につき20株の割合で、2024年3月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(セグメント情報等の注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社の主たる事業領域である国内インターネット広告市場は、前年比107.8%市場規模となっています。(出典：株式会社電通「2023年 日本の広告費」)

このような環境のもと、当第3四半期累計期間において当社では、主力事業であるマーケティングDX事業を中心に提供サービスの品質向上に取り組むとともに、顧客ニーズに合致した最適なサービス提案を可能とする営業体制を整備し、新規顧客の獲得とともに提供サービスのクロスセルやアップセルの促進による既存顧客との取引拡大に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高2,611,213千円(前年同期比20.3%増)、営業利益64,550千円(前年同期比61.0%減)、経常利益58,778千円(前年同期比60.5%減)、四半期純利益33,194千円(前年同期比64.7%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### <マーケティングDX事業>

マーケティングDX事業は、運用型広告を中心とするプロモーション手法を通じ、広告効果向上のための課題抽出、広告の運用までを一貫して実施しております。既存顧客からの受注増及び新規顧客の獲得もあり堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は2,460,135千円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益は442,529千円(前年同期比4.1%減)となりました。

#### <不動産DX事業>

不動産DX事業は、DXで解体業界に新たな価値を届けるべく「解体の窓口」「解体エージェント」「外壁塗装エージェント」を運営しております。ユーザー申込累計件数が37,000件を突破し、認知度が高まっている状況です。

この結果、売上高は151,078千円(前年同期比78.3%増)、セグメント利益は6,277千円(前年同期は13,065千円のセグメント損失)となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は3,845,992千円となり、前事業年度末に比べ217,604千円増加いたしました。これは主として、売掛金が220,004千円、有形固定資産が83,794千円増加したものの、現金及び預金が140,672千円減少したことによります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は3,317,355千円となり、前事業年度末に比べ198,214千円増加いたしました。これは主として、買掛金が236,067千円増加したものの、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)が60,420千円減少したことによります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は528,637千円となり、前事業年度末に比べ19,390千円増加いたしました。これは配当による減少13,804千円、四半期純利益によって利益剰余金が33,194千円増加したことによります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績見通しにつきましては、2024年4月15日付の「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、業績予想は発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2024年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,212,314	1,071,642
売掛金	2,237,769	2,457,773
前渡金	23,329	19,475
前払費用	10,743	27,179
その他	22,724	3,635
貸倒引当金	△1,537	△1,394
流動資産合計	3,505,343	3,578,312
固定資産		
有形固定資産	8,708	92,503
無形固定資産	27,272	23,181
投資その他の資産	87,062	151,995
固定資産合計	123,044	267,680
資産合計	3,628,388	3,845,992
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,761,981	1,998,049
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	243,216	207,664
未払金	471,504	510,922
未払費用	56,640	93,316
未払法人税等	48,708	492
契約負債	13,098	17,687
預り金	10,615	14,910
その他	33,593	19,396
流動負債合計	2,739,357	2,962,440
固定負債		
長期借入金	379,783	354,915
固定負債合計	379,783	354,915
負債合計	3,119,140	3,317,355
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	157,839	157,839
資本剰余金	123,839	123,839
利益剰余金	227,651	247,041
自己株式	△82	△82
株主資本合計	509,247	528,637
純資産合計	509,247	528,637
負債純資産合計	3,628,388	3,845,992

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
売上高	2,171,368	2,611,213
売上原価	1,413,129	1,808,602
売上総利益	758,239	802,611
販売費及び一般管理費	592,616	738,061
営業利益	165,622	64,550
営業外収益		
還付金収入	2,477	420
その他	332	1,743
営業外収益合計	2,809	2,163
営業外費用		
支払利息	8,111	7,913
上場関連費用	11,236	—
その他	217	21
営業外費用合計	19,564	7,935
経常利益	148,867	58,778
税引前四半期純利益	148,867	58,778
法人税、住民税及び事業税	56,483	24,443
法人税等調整額	△1,530	1,140
法人税等合計	54,952	25,583
四半期純利益	93,915	33,194

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2023年3月1日 至 2023年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	マーケティングDX事業	不動産DX事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	2,086,648	84,719	2,171,368	—	2,171,368
一定期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,086,648	84,719	2,171,368	—	2,171,368
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,086,648	84,719	2,171,368	—	2,171,368
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,086,648	84,719	2,171,368	—	2,171,368
セグメント利益又は損失 (△)	461,630	△13,065	448,565	△282,942	165,622

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△282,942千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	マーケティングDX事業	不動産DX事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又はサービス	2,460,135	151,078	2,611,213	—	2,611,213
一定期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,460,135	151,078	2,611,213	—	2,611,213
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,460,135	151,078	2,611,213	—	2,611,213
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,460,135	151,078	2,611,213	—	2,611,213
セグメント利益	442,529	6,277	448,807	△384,257	64,550

(注) 1. セグメント利益の調整額△384,257千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	3,777千円	14,375千円